

平成22年度町立辰野総合病院改革プラン点検報告について

町立辰野総合病院改革プランは、平成21年3月19日に策定し、公立病院としての役割をすすめながら、平成25年度黒字化を目指というものです。

平成22年2月に新病院建設が上伊那地域医療再生事業の認可を受け、平成22年度設計、23・24年度病院建設、24年度秋新病院開院と具体的に計画が決定しました。また、平成22年3月末整形外科の医師が退職し、4月からは非常勤医師体制、更に11月から1名の常勤医師が非常勤医師となり、常勤医師が6名になりました。入院・外来の新規患者の受入ができなくなったことに伴う収入の減が大きく、経常収支比率・職員給与比率などにも影響が出てきました。以上のことから、公立病院改革プランガイドライン（19.12.24 総務省自治財政局長通知）にそって平成23年3月18日町立辰野総合病院改革プランを第1次の全面改定を実施しました。それに伴い、黒字化の目標は平成30年度に変更しました。

本点検報告は、前年度分について翌年9月に点検・評価の結果を公表することに基づくものです。

平成22年度については、平成20年度・平成21年度の点検を基に、改革プランを進める組織として、院内の職場責任者で組織した病院経営機能検討委員会を毎月開催し、経営の改善を中心に話し合い実行してきました。

在宅復帰については、亜急性期病床を導入現在15床の運用し、患者の8割以上が自宅に帰っています。また、リハビリを中心とした回復機能については、リハビリのスタッフも増員し、日曜日を除く毎日患者へのリハビリを実施しています。さらに、退院後のリハビリについても、訪問リハビリの充実を図っています。

8月8日に開かれた町立辰野総合病院運営委員会（委員9名）に、平成22年度の改革プランの状況について報告しました。報告内容は、別添のとおりです。

今後も、改革プランに沿って、病院の経営改善に努めながら、新病院へのスムーズな移行準備をすすめます。

平成23年9月1日

町立辰野総合病院